

PTAだより

第50号

●平成30年12月発行

●愛媛県立南宇和高等学校PTA

今が頑張れるとき!



PTA会長
吉田 幸稔

本校のPTA会長として二年目となりました。昨年度から会員の皆様方にはPTA活動や学校行事に御参加、御協力いただき、ありがとうございます。また、県高等学校PTA連合会の混乱につきまして、ご心配をおかけしておりますが、各校PTAの理解も得ることができ、順調に事業も進んでいます。全国PTAや中四国PTAといった上部団体から不審に思われていたことも、再三行われた説明と話し合いにより、不信感も拭い去られたそうです。前事務局長とは現在も訴訟が続いていますので、変化があれば、またお知らせしたいと思います。

さて、現在、私は、四級・五級の海技士免許を取得するための船舶職員養成講習の仕事に携わっています。以前は、愛南町でも船員さんは、たくさんいたように思いますが、現在は、海運業界でも船員不足となっているそうです。

そんな中、会社や船主の期待を受け、また、給料アップのために家族からの大きな期待を受け、講習生の皆さんは、船長や機関長を目指し、二か月半の間、一生懸命に受講し、大きなプレッシャーを背負い、国家試験に臨むのです。その間は、受験生さながら、いや、それ以上かもしれません。

しかし、受講生の学力レベルは中卒から大卒までバラバラです。合格するためには、海技士としての知識は、もちろん必要ですが、問題を解いたり回答をするためには、文章力や、数学の力が必要です。受講生の声を聴くと、「今まで、こんなに勉強したのは、初めてや。」「大学でも、こんなに勉強せんかった。」「中学や高校の時に、もうちょっとちゃんと勉強しといたらよかった。」などと言っていました。

私は、改めて、しっかりと学力をつけておくことの重要性を感じるとともに、学んだ環境はどうであれ、頑張れば目標に到達できることを目の当たりにし、努力は嘘をつかないことを強く感じました。

生徒の皆さん、将来何が待ち受けているかわかりませんが、しっかりと学力をつけ準備しておきましょう。また目の前には、受験や就職が待ち構えています。努力は嘘をつかないことを信じ頑張ります。今頑張ることがこれからの皆さんの財産となります。

保護者の皆さんには、子供たちの未来のために、応援をよろしくお願いします。

愛おしい日々



校長
島瀬省吾

四月から、約二十年ぶりに夫婦二人の生活を始めました。思えば、結婚してからの

大半は子どもと一緒の生活でした。子どもは二人ほしいと夫婦で話していましたが、第一子である娘を出産したとき、陣痛や出産の苦しみから、病室に戻った妻の第一声が、「もう産まなくてもいい?」だったことは忘れられません。妻が苦しんでいるのに、私には、背中をさすったり手を握ったりすることしかできませんでした。こういう経験を経て女性が母になるということを目の当たりにして、子どもが生まれてくるということには、こんなにも有り難いことなのかと実感しました。自分の母にも感謝の思いを新たにしました。妻の退院の日から、親になりたての夫婦と赤ん坊との、楽しいけれどへとへとな生活が始まりました。毎日の沐浴が私の役割で、おっかなびっくりしながら身体の節々のくびれの中の綿埃を取っていたことを思い出します。そして、「私が手を離したらこの子は死んでしまう。」という漠然とした恐怖に気づいたとき、父としての覚悟ができたように思います。抱っこしていいないと泣く我が子を寝かしつけてから夫婦で夕食にしようとしていたら、日付が変わることもしばしばでした。やがて息子が生まれ、家族四人の怒濤の日々が始まりました。「子育ては自分育て」を実感することがたくさんありました。息子もこの三月に高校を卒業し、親元を離れました。子どもとの日々は、楽しいことばかりだったとは言えませんが、振り返れば本当に愛おしい日々でした。今、子どもたちがそばにいない毎日に寂しさを感じることはありませんが、これも人生の一里塚なのでしょう。皆さんも、愛おしい日々をどうぞ大切になさってください。

全国へと羽ばたいた仲間達

今年度も多岐にわたる分野で全国大会への出場がありました。今回は全国の舞台上で活躍した皆さんに、「①座右の銘 ②全国大会までの道のりと全国大会を終えての思い」を聞いてみました。



宮崎 泰成
(3年3組)

平成30年度全国高等学校総合体育大会 2018 彩る感動 東海総体
(5000m競歩 決勝進出 決勝13位)
第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体 (少年男子共通 5000m競歩 決勝進出)

- ① 一期一会
- ② 僕は1年生から全国大会出場を目標に部活動に取り組みました。2年生の夏に怪我をし、医者に競技を続けることは難しいと言われましたが、諦めきれない自分がありました。そこであるトレーナーさんに出会い、その怪我を和らげるストレッチとトレーニングを教えていただき、選手として復活することができました。目標達成に至るまでにたくさんの先生やコーチ、仲間、後輩、ライバルと出会い、支えられてきました。この出会いがなければ、僕はここまで来ることはできていなかったと思います。人との出会い、そして競歩との出会いに感謝しています



中道 穂香
(3年4組)

World Para Swimming 公認 2018 ジャパンパラ水泳競技大会
(100m自由形 8位・100m背泳ぎ 7位・50m自由形 6位)
第35回 日本パラ水泳選手権大会 (100m自由形 4位・100m背泳ぎ 4位)

- ① 勇往邁進
- ② 9月にジャパンパラ水泳競技大会に出場しました。苦手なスプリント種目に絞って出場したのですが、しっかり準備をして臨んだので自由形2種目はベストを出すことができました。しかし、本命の100m背泳ぎではベストを出すことができず本当に情けないと思っています。3月の代表選考会でベストが出せるように、まだまだ“邁進”していきます。応援ありがとうございました。



清水 鼓哲
(3年3組)

第86回 日本高等学校選手権水泳競技大会 (50m自由形 46位)

- ① 一心不乱
- ② 私は高校に入学したときからインターハイに出場することが目標でした。2年生の時にもインターハイに出場しましたが納得のいく結果ではありませんでした。最後のインターハイでは、自己ベストで泳ぐことができました。ラストイヤーで満足した結果が出せたのは、支えてくれた人たちのおかげです。3年間ありがとうございました。



土居 佑也
(3年2組)

全国高等学校総合体育大会 (個人戦 優秀32選手決定トーナメント出場)
第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体
(団体 愛媛県5位入賞 個人 決勝トーナメント進出)

- ① 努力は隠れてしろ!
- ② 私は3年生として最後の全国大会に臨みました。全国大会で緊張することなく相撲を取れたのも、日頃の稽古がしっかりとできていたからだと考えます。とても良い思い出になりました。今後大学に進学しても頑張りたいです。



清水幸之助
(2年3組)

第73回 国民体育大会 福井しあわせ元気国体 (団体 愛媛県 5位入賞)

- ① 独立独歩
- ② 私は、初めは国体予備メンバー3人の中の1人でした。しかし、「だれにも負けない、絶対国体に出るんだ」という強い気持ちを持ち、一生懸命練習に取り組んだ結果、国体に出場することができました。国体に出場できたのは僕一人の力ではありません。周りの人たちの支えがあったからこそです。今後は周りの人たちへの感謝を忘れず、国体に出場したという思いを胸に、人の手本となれるような人間を目指して頑張ります



松本 実夢
(3年4組)

第42回 全国高等学校総合文化祭 2018 信州総文祭 (自然科学部門 ポスター〈パネル〉発表「パン酵母におけるストレス応答」)

- ① やらなぎやできない
- ② 私たちが入部した年に始めた新しい研究だったので、分からないことも多く、必死に実験と考察を繰り返していました。意見が合わずにぶつあることもありましたが、めげずに協力して実験を続けたから、良い結果が残せたのだと思います。全国大会では、多くの人と意見交換をすることができ、良い経験となりました。



加納 璃乃
(3年4組)

第42回 全国高等学校総合文化祭 2018 信州総文祭 (自然科学部門 ポスター〈パネル〉発表「パン酵母におけるストレス応答」)

- ① 七転八起
- ② 県大会では様々な研究発表が多くあったため、自分たちの発表が選ばれるとは思っておらず、とてもうれしかったです。何度も実験を行う中で、思うようにデータの傾向がつかめず苦勞したこともありましたが、周囲の方々のアドバイスに助けられ研究を進めることができました。全国大会では、結果を残せなかったものの全国レベルの研究発表を聞くことができるなど、貴重な体験になりました。



祝 第11回「商い甲子園」優勝 (岩崎弥太郎賞)

愛媛県立南宇和高等学校 地域振興研究部



その他各部門賞も
3つ同時受賞
史上初の4冠達成!

9月2日(土) 第71回 体育祭

Do our best ~1人1人が全力で~



11月10日(土) 文化祭

1人1人の個性を1つに -111年の時を超えて-

